



Open & Renewal

普遍的デザインで幅広い客層にマッチ



▲シンプルさを追求した外観

リニューアル

愛知県を拠点としてゲストハウスなどを展開するプラス（愛知県一宮市）は、来年6月1日静岡県浜松市にゲストハウス「マンダリン アリュール」をオープンする。同社が静岡県に進出するのは今回が初めて。ホテルやゲストハウスなどを併せ15施設以上が立ち並ぶ激戦区だが、同社は推計で年間4～5000組が挙式するこのエリアを魅力的な市場と判断

マンダリン アリュール

断。年間目標を150組と設定した。あえて普遍的な外見とし、時代の変化に左右されずに長く愛される施設作りを目指す。敷地面積は1175m²、施設面積は729m²。1階が120人収容のバンケット、2階が100人収容できるチャペルとなっている。外見は派手な装飾を抑えたシンプルな造り。各階に窓ガラスを多く取り入れ、光溢れる空間設計を行う。名前に「マンダリン」とある通り、壁面や家具など施設内の各所にオレンジを多用、浜松の主要な農産物「みかん」にちなんだ。

2階のチャペルは床から天までの高さが約5m、バージンロードの長さは約15m。祭壇には巨大なパイプオルガンが設置さ

れる。壁が鏡張りになっており、開放的で奥行きが感じられる空間。また、鏡が反射する光により、明るさが強調される。

バンケットは6人掛けのテーブルが20卓置ける広さ。床はフローリングで、シャンデリアなどの派手な照明は使わず、天井からはシーリングファンが下がっており、全体的に落ち着いた雰囲気。壁一面の窓から光が差し込む他、チャペルと同じく鏡が壁に張られるので、明るさは十分。同時に広さが感じられる空間となっている。バンケットからは庭に行くことができ、ライスシャワーやフラワーシャワーを行う他、デザートビュッフェなどもそこで楽しめる。

入り口を入れるとすぐに目に入

年間目標組数150組



鏡の効果で光溢れるチャペル

る六角形の吹き抜けも特徴的。二階部分は雨戸のように開閉ができるので、新郎新婦が準備中の場合は閉じておけばゲストの目に触れることもない。

入り口の左側がバーカウンター。部屋そのものが出窓のような構造になっており、壁の窓だけでなく、天上からも光が入り込むようになっている。他とは異なり、黒の壁を基調とした造りで、シックな空間となっている。一転してホワイエは木目の家具などを多数配置したカントリー調。アットホームな雰囲気でゲストをリラックスさせる。ここにも窓が多く設置され、光がたくさん入り込む設計となっている。



▲落ちついた雰囲気のバンケット

同社はなるべく広い客層を取り込めるデザインを目指した。「~風」といった特徴をなくすことで、幅広い年齢に対応。男性にも女性にも受け入れられやすいデザインを追及した。愛知県豊橋市など、隣接する他県のエリアからの新郎新婦獲得も視野に入れている。

プランナーは6～7人体制とし、レストラン経営などは当面行わず、挙式のみの施設として運営する予定。

施設データ

施設形態:ゲストハウス
概要:1チャペル・1バンケット
総事業費:非公開
目標売上:非公開
目標組数:非公開